

除菌消臭電解水「クリアライト」

福祉施設への販売強化

北海道サテライト



オリジナル噴霧器をデモンストレーションする阿部社長

北海道サテライト(本社・札幌)の除菌消臭電解水「クリアライト」が、最近流行しているノロウイルスの感染予防策として引き合いを受けている。もともとFAXやコピー機など事務用品の販売をしていた同社だが、噴霧器販売の依頼をきっかけに取り扱いを始め、品質を追求した結果、自社製造に至った。今後、企業だけでなく一般家庭への販売にも力を入れていく。

1990年に事務機器の販社として設立。4年前から噴霧器の販売を始め、現在は自社製の電解水と噴霧器を扱う。

電解水は当初、複数のメーカーから仕入れていたが、日光に弱く時間がたつと酸化するという性質上、納入過程で性能が落ちてしまい「効果が弱い」「阿部孝社長」と感じていたという。「それな

らばと製造装置を仕入れた。専門知識はなかったが、取引があつた各メーカーに聞き回って開発にこぎ着けた」

開発した電解水は除菌速度が高く、ウイルスの種類を選ばず除菌ができる次亜塩素酸水を、肌のpHに近い弱酸性に調整したもの。人体に対しても安全で、有機物に触れると水になる性質のため

残留の心配もなく、生鮮食品の洗浄など幅広い業界で使われている。同社では、経年劣化に悩まされた経験から「新鮮なものをお届けしたい」という品質のこだわりがあるため、注文を受けてからつくっている」と言う。

目的用途に合わせて希釈したもの、ハンディースプレーや噴霧器で

散布して使う。噴霧器は当初他社製のみ扱っていたが、「もっと安く、コンパクトで使いやすいものはないか」という声を受け、自社開発を決めた。

オリジナルの噴霧器「STミスト」は、電解水を霧状にする高出力のコンプレッサーと、必要なだけ散布できる特殊ハンドガン、持ち運びしやすいよう専用のキャリカートが付属した。重さは他社製の半分以下の約10kg、キャリカート

から外した場合は約6kgと軽量なので持ち運びも簡単。吹き出す際の騒音も少ないため、特に福祉施設での使用に最適だという。

12年から福祉関連・動物愛護のイベントに参加するなど本格的なPRを始めた。その取り組みが奏功し、ペット愛好家から問い合わせを受けたほか、福祉施設からはノロウイルスの流行をきっかけにレンタルの要望があつた。

札幌市内の大手ホテルや道内回転寿司チェーン店など現在、約80カ所に導入されている。今後の販売展開について阿部社長は「やはり一番は福祉施設。噴霧器はあまり知られていないが、クリアライトと一緒にPRしていく」と意欲的。「来年

もイベントに参加して一般の人にもアピールしていきたい」と話している。クリアライトは2500円、4kgで3500円。自社噴霧器の「STミスト」は21万円で販売している(いずれも税抜き)。

問い合わせは同社、電話011(578)5711まで。